

皇后さま、带状疱疹

公務は予定通り

宮内庁は16日、皇后さまの上腹部に発疹ができ、带状疱疹（ほうしん）と診断されたと明らかにした。2月末からの6泊7日のベトナム、タイ訪問の疲労が重なっていたとみられる。熱はなく、薬を服用するなどしている。公務や行事は予定通り行うという。

宮内庁によると、14日夕に発症、専門医が診断した。皇后さまは1994年のスペイン訪問中と、97年のブラジル、アルゼンチン公式訪問から帰国後、それぞれ带状疱疹を発症している。いずれもかなりの疲労があったという。

## 地産地消実践者に学ぶ

飯豊 民宿経営者らが事例紹介



地産地消を実践する民宿

や農園経営者らに学ぶセミナーが16日、飯豊町のホテルフォレストいいいでで開かれた。これまでに農林水産省の地産地消優良活動表彰を受けた県内外の3団体が事例紹介し、参加者が先進的な取り組みへの理解を深めた。

同省が主催し、県内外の観光や行政関係者など約50人が参加。2014年度に同表彰を受けた同町の「な

かつがわ農家民宿組合」の伊藤ふみ組合長が教育旅行や台湾旅行客の受け入れといった事業を紹介した。食

材を旅行者が自ら収穫する機会を設けていることや、

地元食材を使った郷土食を提供するよう努めていることを説明。「宿泊を通し改めて食の大切さに気付いてくれる人が多い」と話した。

観光農園「アグリのリおいらせ」（青森県）と、地元産ヨーロッパ野菜の地産地消を進める「さいたまヨーロッパ野菜研究会」（さいたま市）も活動を紹介。引き続き食環境ジャーナリストの金丸弘美さん（東京都）がコーディネートとなり、質疑応答や意見交換を行った。

この日、参加者は農家民宿に宿泊。17日は中津川地区の農家民宿や雪室施設を見学する。